

發行編輯人 川崎文治

常新新聞

定価 一冊五錢 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元

郵税五厘 印刷所 常盤毎日新聞社

刊夕日九十月五

◇キツト買ッテ戴ケル 確信アル値段

米松 建築材料 各種 建築材料 各種 建築材料

平町五丁目 電話一八八番

内科 胃腸科 婦人科 十二指腸虫病科 花柳病科 X光線科

松村病院 平町南町電話一〇七番

内科 外科 耳鼻咽喉科 花柳病科

高久病院 平町南町電話三三三番

赤心堂病院 平町南町電話四七五番

杖と保険は轉ばぬ先に

東洋海上保險株式會社

代理店 加藤營業所

火の用心 保險の用意

外科内科 平町鎌田町

産婦人科

花柳病科

金成醫院 金成忠義 電話三五八番

平町會議員候補者トシテ

井上茂作君 五丁目公認

星野清吉君 五丁目公認

大工町一同

五丁目一同

霜降小倉 通學服

寸法各種 澤山取揃

磐城平 電話二〇三番

おかや洋服店

眞に是れ鬼に金棒!

耐火耐久力の絶大なる 日本コンクリート鐵網

拔群優秀なる斯界の權威

磐城セメントを推奨す

最も經濟的に然も超越せる無比の良材

特約代理店 平町五丁目

和洋鐵 釜屋商店 電話九番一三九番

平町會議員候補者トシテ

高橋龜松君

最適任者ト認メ極力其ノ當選ヲ期ス

小兒科 梅毒科 (需應院入)

藤沼醫院 電話五〇七番

春衣の最安値品

良品廉賣の實現

- 小紋金紗 金十五圓也
- 銘仙 金七圓也
- 本セーブル 金七圓也
- モス着尺 金四圓五十錢
- 羽二重帶側 金四圓五十錢
- 英ネル 金一圓六十錢
- 紺染緋 金一圓六十錢

破格品豊富に 取揃へ大廉賣 可仕候

三井吳服店

有權者諸君へ

吾輩は全くの白紙で最も公平に批判し得る地位に立つものであるから此場合候補者諸君に對し遠慮なき希望を述べて一面有權者諸君の御参考にも供し度思ふものである。

立候補諸君の顔ぶれを見るに古顔あり新顔あり舊人あり新人あり誠心誠意に事なされる者あり余の現見する中一能く自治の如何なるものなるやを解し二町政に對して抱負あり三眞に

我平町の利福の爲めに盡粹すべき犧牲的精神を有するものは果して幾人を數へ得るであらう。

新顔必ずしも新人ならず、所謂新人必ず新智識を有せず、新智識必ずしも町是にそふとは申し難い……、思ひば少々心細い感を感じ得ないのみならず中には失敬ながらどう云ふ積りで候補に立て居られるのか解し難い様な人さへ見へる様に思はれる。

町議の職たる決して伊達や見栄ではないのであるから候補者諸君は宜しく自ら果して町議たるに適するや否又能く其職責を果し得るや

否や、を省みて徒らに肩書を得むが爲め候補者や其地位を利用して何等かの私利を得むと欲する様な野心候補者は勿論の事、漫然推されたから立つた云ふ様な案山子候補者は遠慮して貰ひ度いと思ふのである、と今時に有權者諸君も御互の利害休戚に關する事であるから義理や縁故に左右せらるゝ事なくよく人物を選擧して我平町の爲め「此人ならば……」と信する人を選擧すべきであつて敢て現に名乗を揚げて居る候補者に限る譯ではないのである

粹御を 非是

大谷時計店 平町三丁目 電話一九番

最新流行 安野ガノイ澤山揃ヒマシ

大谷洋品部

小僧さん入用 喰べてたいしい

遠藤パン

石城郡町村會 議員の選舉期日

来る廿八日が皮切り

石城郡内に於ける各町村議員の選舉期日は左記の如くである。

廿一日泉、廿日渡、六月廿九日植田、五月廿日錦、七月四日窪田、六月四日上遠野、六月十一日入遠野、六月廿七日川部、五月廿日野、六月七日飯、六月五日高久、六月十二日豊間、六月一日江名、六月二日鹿島、六月十七日小名濱、六月廿九日川、五月廿一日野崎、六月十日湯本、六月八日内郷、六月廿七日好間、七月一日赤井、六月六日永戸、六月七日箕輪、六月五日澤渡、六月六日三阪、五月廿日神谷、五月廿九日草野、六月廿五日大浦、五月廿日四倉、六月廿日大野、六月十一日平窪、五月廿八日上小川、五月廿八日下小川、六月廿日川前。

寄宿舍落成

八十名を收容

縣立警城中學校寄宿舍建築は既報の如く第一期工事費二萬八千二百七十八圓を以て八十名を收容し得る宿舍の總二階建一棟、食堂炊事場の平屋一棟、便所一棟及之れを通ずる廊下で三月より着工し居り既に工費の約半額に達する分の諸材料が搬入され建築は基礎を了したのみであるが九月二十日迄竣工し第二期開始と同時に舊寄宿舍より轉宿し得る。

常警線の 運轉時間

來年度から

常警線平、岩沼間沿線の濱三郡中等學校では現在の如く三時間同一位の客車運轉では生徒の通學上不便なばかりでなく時間の不經濟も甚だしいと云ふので再三仙台運輸事務所に通學の便を取計らひ方申出たが、いよ十五年度から實現する事になるらしい。

江名賭博檢舉

石城郡江名町大字江名中野貫一宅にて十八日午後二時頃同外七名と共に十反賭博開帳中駐在巡查に探知され平署にて取調中。

演奏曲目

晝夜の二回

既報来る廿一日晝夜有聲座にて開催する、東京ハーモニカ音楽協會主催本社後援の東京一流吹奏大家永田禮次郎氏外数名のハーモニカ演奏會プログラムは左の如くである。

△晝の部、歌劇セヴヱラ

蠶種が二百枚滅死

養蠶教師は何處かへ逃走

石城郡上小川村字上小川部落では四月中に養蠶教師を雇入れ五月三日から催青に着手し十四日に掃立をなし共同種蠶飼育中の蠶種約二百枚分が催青の不意から過半斃死したので同部落では大狼狽し善後策を講じて居るが養蠶教師松本某は十七日夜より行衛を晦ました。

稲作増收

平町外八ヶ村

平町外八ヶ村の稲作増收品評會を今秋開催するに就いての打合せは十九日午前十時から平町役場にて開く。

納税十三名

貴院の互選權

石城郡内に於ける直接國税千圓以上の納税者は左記十



家庭欄

子供の腸内には蛔蟲が寄生する時、それがために子供は突然高い熱を出したり腹痛を起したり又は急激な

平から道行

四十六の男

福島縣石城郡平町北目町一番地三番地三番長角田カツイ(三)は同町佐野屋旅館に女中奉公中同家の料理人茨城縣久慈郡金郷村大字中利貫茅根力之助(三)と出来合ひ去る十一日主家を無断逃走行衛不明となつたがミヨには一人娘として一層心配し捜索中兩人連れ立ち水戸に入

野崎滿藏君に答ふ

足下に一片の誠意なし

足下は水利權が餘細工の様な譯には行かぬと云ふ、何を意味するや甚だ曖昧を極めた言であるが勿論水利權を餘細工と同一に論ずる事は出来ぬであらう然れ共足下が

一點の 私心なく平

町百年の大計を樹立する上に於て電氣町營を理想であると思ふならば無償提供等と妙に奥歯に物の挟つた云ひ方を爲さず男らしく是れを放棄してこそ始めて浮

川崎文治

ぶ瀬もあるのである、然るに矢張り實際は無償提供等の眞意

毛頭な

苦肉の策を弄しても此權利を平町に賣り付け様この下心があるから左様な公明正大なる態度を示す事が出来

市制を

も敷かんと

する平町の將來には種々雑多な難關や障害が横たはつて居る、平町をして眞によ

人並み

以上の因縁

浅からざるものがあつた、一度び同問題に遭遇し足下等の行動が甚だ平町將來の爲めに矛盾顯著を極めて居る事を知るに及び敢然と起つたのである、足下のみでなくいま大瀧問題の利權屋と目する、人々の多くは事

利益と

相反馳する

行動は是れを許すべからざるものとの見地より他迄同問題が平町の爲めに有利に展開すべく健闘する事となつたのである云ふ迄もなく單なる感情に支配されるが如き女々しき行動に出でた覺えは斷じてない、従つて足下の「川崎文治君は愛町の美辭に藉口して」の

論議を

吐いて居る

が云々の一言は茲に立派に返上する、足下こそ此際頭腦を冷靜ならしめて熟慮一番翻然として悟る處あり斷々乎として利權放棄の決意を定むべく余は他迄進言して止まないものである (終)

好問納税表彰

石城郡好問村にては小字毎に十名乃至二十名より成る納税

讀者の聲

水戸の讀者

時代を遡る明が緊要であると同時に多數の讀者が「何を求めつゝあるや」に注意する事の奈何に依て新聞經營は浮沈するでせう、此意味から貴紙連載の「野崎君に答ふ」はよく捉へたもので、敬服して讀んで居ます、論旨も行文も嫌味のない歯切れのいい飽きも堂々たる處川崎君ならではと思はれて嬉しき限りです、切に御多幸を祈ります

募集

文藝其他投稿

にては木杯一個を添えて十八日午前十一時表彰式を舉行したと

り込んだ由を開き水戸縣へ搜索を出願した

磐城育英總會

石城育英總會並に評議員會は廿一日午前十時から石城郡役所で開會、十四年度豫算、規則改正、貸費生選定等を協議すと